

(様式2(1))

事業所名 グループホームまんでんだ上野

作成日: 令和4年 2月 23日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナ禍以前はご家族の面会の多いホームであった。しかし現在はコロナ禍のため、家族の面会に制限を設けている。これにより、ご入居者のホームでの暮らしがご家族に伝わりにくくなっている。	ホーム全体の日頃の状況をお伝えすることとは別に、個別のご入居者の様子をご家族にお伝えする。	定期的に発行している「まんでん通信」や「山麓新聞」とは別に、年に2回個別のご入居者の様子を写真と共にお知らせするお手紙を、ご家族にお送りする。	6ヶ月
2	4	コロナ禍のため運営推進会議の開催が書面での開催となっている。ご自身のご家族であるご入居者の様子以外の、ホーム全体の運営状況に関心を持って頂きにくくなっている。	直接にホームの運営状況をご説明する機会を持つ。	ご家族が面会に来られた際に、運営推進会議の議事録を直接お渡しし、運営状況をご説明する。ご家族以外のメンバーについては、先方の事情の許す限り、持参と送付を組み合わせる。面会に来られないご家族には従来通り送付する。	4ヶ月
3	40	コロナ禍のため地域喫茶や外食には行くことができない。また食事レクリエーションは衛生の点から食事ではなく簡単なおやつ自作になっている。生活の中での食の楽しみがコロナ禍以前と比べて減少している。	食を楽しむ機会を増やしてホームでの生活が豊かになることを目指す。	食事レクリエーションの再開に向けて担当部署と協議を開始する。コロナの感染状況を見ながら、実施の可否、方法、頻度などを検討する。また、1～2ヶ月毎を目安に、地域の和菓子店、洋菓子店にてお菓子を購入し、ご入居者に提供する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。